

令和6年度 第1回学校関係者評価委員会（報告）

鹿児島県立与論高等学校

- 1 日 時 令和6年7月17日(水) 午後2時30分～4時20分
- 2 場 所 本校図書室
- 3 出席者 (1) 学校関係者評価委員(5人)
与論中学校長, 与論町教育委員会事務局長兼学務課長, 与論町副町長, 学習塾まなび島塾長, 与論高校PTA会長
(2) 本校職員(9人)
校長, 教頭, 事務長,
4部主任(教務, 進路指導, 生徒指導, 保健), 1～3学年主任
(保健主任と1学年主任は兼任)
- 4 日程等 (1) 委嘱状授与
(2) 授業参観
(3) 評価委員会 校長挨拶, 本年度の教育活動説明, 協議(意見交換, 要望等)

5 質疑応答・意見

- 授業参観で各教室の気温が高く, 学習活動に支障をきたすと感じられた。県立高校とはいえ, 町としても環境整備に協力できないか考えていきたい。
- 生徒募集について, 中高の連携はもちろんだが, PTAや行政として関わることがないだろうか。
- 中学生から高校生までの6年間を通して生徒を見守る立場にあるが, 今年度の体育祭を見て, 今年度の高校3年生の成長には目を見張るものがあった。
- 家庭での学習習慣が身に付いておらず, 基礎学力が低下してきているように感じる。入学試験の在り方を検討することはできるのか。
→ 与論中の生徒に限らず, 全県下的に勉強をしない生徒が増えている状況だ。入試の在り方というより, 家庭との連携を図りながら学習習慣を育む必要がある。
- 学習時間調査の具体的な数字を知りたい。
→ 全体としては, 金曜日と土曜日に少ない傾向がある。2年生以降では, 総合コースと文理コースでの差が大きく出ている。
- 学習時間が少ない要因として, スマホ依存が考えられないか。一度なってしまうと, どうにもならないことが多いので, 未然に防ぐことができるように家庭での指導や生活環境の改善に努めた方が良い。
- 令和5年度与論中卒業生の中には不登校傾向の生徒がおり, 数名は通信制への進学を希望した。他の数名は与論高校に進学したが, 1学期の状況やどのような対応をしたか知りたい。
→ 1学期は順調な学校生活を送ったようである。事前に保護者を含めた面談を行い, 本人や保護者の不安を緩和させることを試みた。また, 学習面においては補講等を実施し, 対応した。
- 中学校でも生徒の学習状況に課題を感じている。入試でのレポートについても, 検討が必要ではないかという意見が出ている。
→ 高校1年生の7月に行われた全国模試の結果を中学校と共有することで, 現状が具体的にわかるだろう。それをもとに, 今後の学習指導に生かしていけたらよいのではないか。
- 与論町の給食センターが老朽化しており, 新しくなる予定である。そうなった場合, 高校でも利用する可能性があるか今後探っていきたい。アンケート調査等を実施する場合は, 協力をお願いしたい。